

授 業 科 目 名	言語発達障害学Ⅲ（脳性麻痺・学習障害含む）	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2年（後期）
担 当 教 員 名	上村 朋久	単 位 数	2単位
		時 間 数	60時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>発達障害の特徴は十人十色で支援方法も様々である。子どもに合った支援を行うために、評価分析は不可欠なため、検査中心に実施する。</p>		
	<p>〔学習目標〕</p> <p>子どもたちを支援していくために、障害特性を正しく理解し、支援者として特性に応じた評価・支援が提供できるようになることが授業の目標である。</p>		
授業回数	授業内容		
第 1 回	WISC知能検査(1) 手順		
第 2 回	WISC知能検査(2) 評価		
第 3 回	田中ビネー知能検査(1) 手順		
第 4 回	田中ビネー知能検査(2) 評価		
第 5 回	K-ABC(1) 手順		
第 6 回	K-ABC(2) 評価		
第 7 回	DN-CAS(1) 手順		
第 8 回	DN-CAS(2) 評価		
第 9 回	S-S法(1) 手順		
第 10 回	S-S法(2) 評価		
第 11 回	新版K式発達検査(1) 手順		
第 12 回	新版K式発達検査(2) 評価		
第 13 回	PVT-R 概要		
第 14 回	DAM 概要		
第 15 回	DTVP 概要		
第 16 回	K-ABCⅡ(1) 手順		
第 17 回	K-ABCⅡ(2) 評価		
第 18 回	ベントン視覚記銘検査		
第 19 回	STRAW		
第 20 回	LCSA、LCスケール		
第 21 回	SCTAW		
第 22 回	質問-応答関係検査 概要		
第 23 回	ADHD評価スケール 概要		

第 24 回	遠城寺式発達検査 概要
第 25 回	KIDS
第 26 回	津守・稲毛式発達検査
第 27 回	応用行動分析学(1)
第 28 回	応用行動分析学(2)
第 29 回	TEACCHプログラムなど
第 30 回	AAC
評価方法	定期試験による (100%)
教科書 参考図書	[教科書] 標準言語聴覚障害学 言語発達障害学 (医学書院) 配付資料
履修上の 留意点	遅刻、欠席は正当な理由がある場合を除いて、原則認めない。
メッセージ	子どもたちと保護者が安心して検査に臨めるよう、休み時間などを利用して繰り返し手順や方法を身につけてください。